

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和5年 9月29日)

事業コード	R5-建-継-06	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)	部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)	班 名	道路建設チーム(tel)018-860-2492
路線名等	主要地方道 鳥海矢島線	担当課長名	道路課長 石川 康樹
箇所名	由利本荘市鳥海町中直根	担当者名	チームリーダー 船木 孝仁
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	交流を支える交通基盤の強化	
	施策の方向性	高速道路等の整備	

1. 事業の概要

事業期間	R1 ~ R7 (7年)	総事業費	9.2 億円	国庫補助率	0.595																																																					
事業規模	延長 L=2,000m 幅員 W=5.5(8.0)m (1.25-2.75-2.75-1.25)																																																									
事業の立案 に至る背景	<p>○(主)鳥海矢島線は、一般国道108号と(主)仁賀保矢島館合線を結び、鳥海国定公園を中心とした周辺観光施設へのアクセス性の向上に寄与する路線である。</p> <p>○しかし当該区間は、中直根地区の家屋連担部であり、幅員狭隘(最小幅員W=4.0(5.0)m)、線形不良(最小曲線半径R=30m)、急勾配(i=8%)などにより、大型車両等の通行に支障をきたしており、特に積雪時にはこれらの課題が顕著である。</p> <p>○鳥海ダム建設の工事用車両が通行し、現道は中直根地区の家屋連担部であり、大型車両の増加による地域住民の安全確保や、騒音・振動等による影響が懸念されることから、早期の道路整備が必要となる。</p> <p>○整備後は鳥海国定公園を中心とした周辺観光施設へのアクセス機能強化および鳥海ダムを活かしたダムツーリズムへの寄与が期待できる。</p>																																																									
事業目的	<p>○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保</p> <p>○鳥海国定公園を中心とした周辺観光施設へのアクセス機能の強化</p>																																																									
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>920,000</td> <td>920,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>632,500</td> <td>702,500</td> <td>70,000</td> <td>労務資材単価の上昇による増額</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>164,000</td> <td>94,000</td> <td>△70,000</td> <td>補償費の精査による減額</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>123,500</td> <td>123,500</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>547,400</td> <td>547,400</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td>335,300</td> <td>335,300</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>37,300</td> <td>37,300</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 用地補償 改良工 橋梁工 旧橋撤去工</td> <td>調査・設計 用地補償 改良工 橋梁工 旧橋撤去工</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						前回評価	今回評価	増 減	理 由 等	事業費	920,000	920,000	0		経費内訳	工事費	632,500	702,500	70,000	労務資材単価の上昇による増額	用補費	164,000	94,000	△70,000	補償費の精査による減額	その他	123,500	123,500	0		財源内訳	国庫補助	547,400	547,400	0		県 債	335,300	335,300	0		その他					一般財源	37,300	37,300	0		事業内容	調査・設計 用地補償 改良工 橋梁工 旧橋撤去工	調査・設計 用地補償 改良工 橋梁工 旧橋撤去工			
		前回評価	今回評価	増 減	理 由 等																																																					
事業費	920,000	920,000	0																																																							
経費内訳	工事費	632,500	702,500	70,000	労務資材単価の上昇による増額																																																					
	用補費	164,000	94,000	△70,000	補償費の精査による減額																																																					
	その他	123,500	123,500	0																																																						
財源内訳	国庫補助	547,400	547,400	0																																																						
	県 債	335,300	335,300	0																																																						
	その他																																																									
一般財源	37,300	37,300	0																																																							
事業内容	調査・設計 用地補償 改良工 橋梁工 旧橋撤去工	調査・設計 用地補償 改良工 橋梁工 旧橋撤去工																																																								
事業の進捗 状況	○令和4年度末で事業進捗率83%(用地進捗率は100%)																																																									
事業推進上 の課題	○特になし																																																									
関連する計 画等	○鳥海ダム建設事業																																																									
情勢の変化 及び長期継 続の理由	<p>○由利本荘市から当該区間の道路改良について要望書提出(毎年)</p> <p>○本荘由利交通体系整備促進協議会から当該区間の道路改良について要望書提出(H30)</p> <p>○鳥海ダム工事事務所から当該区間の道路整備について要望(H30)</p>																																																									
事業効果把 握の手法及 び効果	<table border="1"> <tr> <td>指 標 名</td> <td colspan="4">県管理道路改築率</td> </tr> <tr> <td>指 標 式</td> <td colspan="4">改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>● 成果指標</td> <td>○ 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>52.2% (R7末)</td> <td></td> <td>データ等の出典</td> <td>道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>52.0% (R4末)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>99.6%</td> <td></td> <td>把握の時期</td> <td>令和5年7月</td> </tr> </table>					指 標 名	県管理道路改築率				指 標 式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)				指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	52.2% (R7末)		データ等の出典	道路課調べ	実績値 b	52.0% (R4末)				達成率 b/a	99.6%		把握の時期	令和5年7月																							
指 標 名	県管理道路改築率																																																									
指 標 式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)																																																									
指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																						
目標値 a	52.2% (R7末)		データ等の出典	道路課調べ																																																						
実績値 b	52.0% (R4末)																																																									
達成率 b/a	99.6%		把握の時期	令和5年7月																																																						

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○車道幅員が4.0mと狭小な道路であるほか、最小曲線半径30mの線形不良箇所も存在しているため、車両のすれ違いが困難となっており、交通に支障をきたしている。</li> <li>○家屋連坦部における堆雪帯が確保されていないほか、最急勾配8%の箇所も存在しており、大型車の冬期交通が課題となっている。</li> <li>○バス路線だが歩道が未設置であり、過去に死傷事故が発生しているため、安全な歩行空間の確保が必要である。</li> </ul>	15点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後は鳥海ダム建設の工事用車両が通行する予定となっているが、現道は中直根地区の家屋連坦部であり、大型車両の増加による地域住民の安全確保や騒音・振動等が課題となるため、早期の整備が必要となる。</li> <li>○事業区間内に多数の土砂災害警戒区域に指定されており、災害時の避難路・代替路の確保のため、整備が必要である。</li> </ul>	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二次救急医療施設である由利組合総合病院へのアクセス性が向上する。</li> <li>○鳥海国定公園を中心とした周辺観光施設へのアクセス機能強化および鳥海ダムを活かしたダムツーリズムへの寄与が期待され、地域観光の活性化に大きく貢献する。</li> <li>○整備により大型車両の通行が容易になり、鳥海ダム事業の効率化に寄与する。</li> </ul>	20点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業の費用便益比は1.07であり効率性は高い。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・総費用の現在価値 11.9 億円</li> <li>・総便益の現在価値 12.8 億円</li> </ul> </li> <li>○計画交通量は1,700台/日である。</li> <li>○R4年度にバイパス区間が供用済みである。</li> </ul>	16点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度末の事業進捗率は83%である (用地進捗率は100%)</li> </ul>	20点
判 定	<b>ランク ( ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ )</b>	86点
	有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、計画的な実施に努める。
-------------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○車道幅員が4.0mと狭小な道路であるほか、最小曲線半径30mの線形不良箇所も存在しているため、車両のすれ違いが困難となっており、交通に支障をきたしている。</li> <li>○家屋連坦部における堆雪帯が確保されていないほか、最急勾配8%の箇所も存在しており、大型車の冬期交通が課題となっている。</li> <li>○バス路線だが歩道が未設置であり、過去に死傷事故が発生しているため、安全な歩行空間の確保が必要である。</li> </ul>	15点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後は鳥海ダム建設の工事用車両が通行する予定となっているが、現道は中直根地区の家屋連坦部であり、大型車両の増加による地域住民の安全確保や騒音・振動等が課題となるため、早期の整備が必要となる。</li> <li>○事業区間内に多数の土砂災害警戒区域に指定されており、災害時の避難路・代替路の確保のため、整備が必要である。</li> </ul>	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二次救急医療施設である由利組合総合病院へのアクセス性が向上する。</li> <li>○鳥海国定公園を中心とした周辺観光施設へのアクセス機能強化および鳥海ダムを活かしたダムツーリズムへの寄与が期待され、地域観光の活性化に大きく貢献する。</li> <li>○整備により大型車両の通行が容易になり、鳥海ダム事業の効率化に寄与する。</li> </ul>	20点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業の費用便益比は1.07であり効率性は高い。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・総費用の現在価値 11.9 億円</li> <li>・総便益の現在価値 12.8 億円</li> </ul> </li> <li>○計画交通量は1,700台/日である。</li> <li>○R4年度にバイパス区間が供用済みである。</li> </ul>	16点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度末の事業進捗率は83%である (用地進捗率は100%)</li> </ul>	20点
判 定	<b>ランク ( ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ )</b>	86点
	有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、計画的な実施に努める。
-------------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

--